

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 23 年 9 月 22 日 (2011.9.22)

【公開番号】特開 2009-87930 (P2009-87930A)

【公開日】平成 21 年 4 月 23 日 (2009.4.23)

【年通号数】公開・登録公報 2009-016

【出願番号】特願 2008-226583 (P2008-226583)

【国際特許分類】

H 0 5 B 33/10 (2006.01)

H 0 1 L 51/50 (2006.01)

【F I】

H 0 5 B 33/10

H 0 5 B 33/14 A

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 8 月 10 日 (2011.8.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 面に開口部を有する反射層が設けられ、前記第 1 面と対向する第 2 面に光吸収層と蒸着材料とが順に設けられている第 1 の基板と、第 2 の基板とを用い、

前記第 1 の基板の前記第 2 面側と、前記第 2 の基板の第 1 面とを近接させた状態で、前記第 1 の基板の前記第 1 面側から光の照射を行い、

前記反射層の開口部と重なる位置にある前記光吸収層に前記照射光を吸収させることで、前記蒸着材料を加熱し、

前記蒸着材料を前記第 2 の基板の前記第 1 面側に付着させることを特徴とする発光装置の作製方法。

【請求項 2】

第 1 面に開口部を有する反射層が設けられ、前記第 1 面と対向する第 2 面に光吸収層と蒸着材料とが順に設けられている第 1 の基板と、第 2 の基板とを用い、

前記第 1 の基板の前記第 2 面側と、前記第 2 の基板の第 1 面とを接した状態で、前記第 1 の基板の前記第 1 面側から光の照射を行い、

前記反射層の開口部と重なる位置にある前記光吸収層に前記照射光を吸収させることで、前記蒸着材料を加熱し、

前記蒸着材料を前記第 2 の基板の前記第 1 面側に付着させることを特徴とする発光装置の作製方法。

【請求項 3】

第 1 面に開口部を有する反射層が設けられ、前記第 1 面と対向する第 2 面に光吸収層と蒸着材料とが順に設けられている第 1 の基板と、第 1 面に第 1 の電極が設けられている第 2 の基板とを用い、

前記第 1 の基板の前記第 2 面側と、前記第 2 の基板の前記第 1 面とを近接させた状態で、前記第 1 の基板の前記第 1 面側から光の照射を行い、

前記反射層の開口部と重なる位置にある前記光吸収層に前記照射光を吸収させることで、前記蒸着材料を加熱し、

前記蒸着材料を、前記第 2 の基板の前記第 1 面に付着させた後、前記第 2 の基板の第 1

面に第２の電極を形成することを特徴とする発光装置の作製方法。

【請求項４】

第１面に開口部を有する反射層が設けられ、前記第１面と対向する第２面に光吸収層と蒸着材料とが順に設けられている第１の基板と、第１面に第１の電極が設けられている第２の基板とを用い、

前記第１の基板の前記第２面側と、前記第２の基板の前記第１面とを接した状態で、前記第１の基板の前記第１面側から光の照射を行い、

前記反射層の開口部と重なる位置にある前記光吸収層に前記照射光を吸収させることで、前記蒸着材料を加熱し、

前記蒸着材料を、前記第２の基板の前記第１面に付着させた後、前記第２の基板の第１面に第２の電極を形成することを特徴とする発光装置の作製方法。

【請求項５】

請求項１乃至請求項４のいずれか一項において、

前記光吸収層は、前記反射層の開口部と重なる位置に選択的に形成されていることを特徴とする発光装置の作製方法。

【請求項６】

請求項１乃至請求項５のいずれか一項において、

前記照射光は、赤外光であることを特徴する発光装置の作製方法。

【請求項７】

請求項１乃至請求項６のいずれか一項において、

前記反射層は、前記照射光に対して、反射率が８５％以上であることを特徴とする発光装置の作製方法。

【請求項８】

請求項１乃至請求項７のいずれか一項において、

前記反射層は、アルミニウム、銀、金、白金、銅、アルミニウムを含む合金、または銀を含む合金のいずれか一を含むことを特徴とする発光装置の作製方法。

【請求項９】

請求項１乃至請求項８のいずれか一項において、

前記光吸収層は、前記照射光に対して、反射率が６０％以下であることを特徴とする発光装置の作製方法。

【請求項１０】

請求項１乃至請求項９のいずれか一項において、

前記光吸収層の膜厚は、２００ｎｍ以上６００ｎｍ以下であることを特徴とする発光装置の作製方法。

【請求項１１】

請求項１乃至請求項１０のいずれか一項において、

前記光吸収層は、窒化タンタル、チタン、カーボンのいずれか一を含むことを特徴とする発光装置の作製方法。

【請求項１２】

請求項１乃至請求項１１のいずれか一項において、

湿式法を用いて、前記第１の基板の前記第２面側に前記蒸着材料を付着させることを特徴とする発光装置の作製方法。

【請求項１３】

請求項１乃至請求項１２のいずれか一項において、

前記蒸着材料は、発光材料またはキャリア輸送材料であることを特徴とする発光装置の作製方法。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】発光装置の作製方法